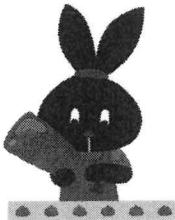




# 図書だより



令和6年2月7日(水)  
大泉町立西中学校図書委員会  
第11号  
1-4  
大西博・アモイステイシー

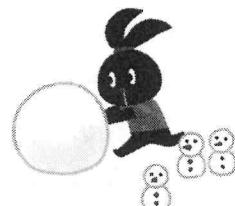
立春を迎え、暦の上では春ですがまだまだ寒い日が続きますね。

早いもので、3学期も残りわずかとなりました。体調管理には気を付けて、まとめの学期として、やり残したことのないように勉強も部活も取り組んでくださいね。

2月24日は大正・昭和期の作家であり「直木賞」に名を残している直木三十五（本名：植村宗一）の命日です。直木賞は、没後の1935年に文藝春秋社が三十五の功績を記念して創設しました。

今年も「直木賞」、「芥川賞」が1月17日に発表されました。結果については、裏面に載せておきますので、興味のある人は読んでください。

## 最終開館日のお知らせ

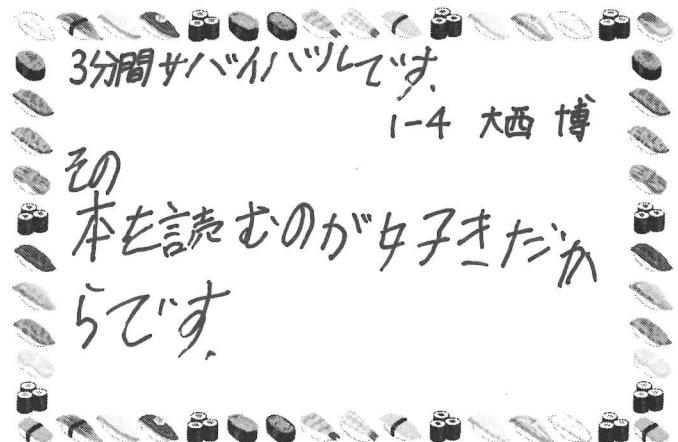
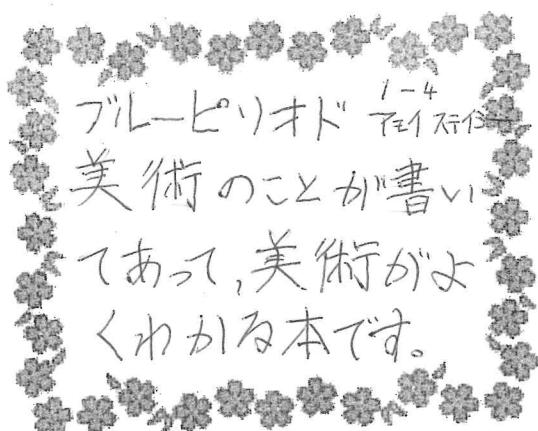


図書だより第10号でも少しお話をさせていただきましたが、

蔵書点検のため2月16日(金)で今年度の本の貸し出しは終了となります。

2月19日(月)からは返却のみの受付となります。借りている本はすべて2月中に返却してください。廊下の返却BOXも利用してくださいね。よろしくお願ひします。

## 図書委員さんおすすめの本



## 新刊紹介

- ラベンダーとソプラノ ○可燃物 ○セカイの千怪奇 1. 2 ○なれのはて
- 13歳からの進路相談: マンガと図解でわかる! ○つる子さんからの奨学金
- アップサイクル! : ぼくらの明日のために ○新・心が元気になる本 2
- しんどい時の自分の守り方: 10代から知っておきたいメンタルケア
- 泣いたあとは、新しい靴をはこう。 ○本のない、絵本屋クッタラ ○真夜中法律事務所



## 芥川賞・直木賞が決定



### 芥川賞

『東京都同情塔』著:九段 理江

ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワートーキョー」が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名沙羅は、仕事と心情の乖離(かいり)に苦悩しながらパワフルに未来を追求する。ゆるふわな言葉と、実のない正義の関係を豊かなフロウで暴く、生成 AI 時代の預言の書。

### 直木賞

『ともぐい』著:川崎 秋子

明治後期の北海道の山で、猟師というより獸そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。図らずも我が領分を侵した穴持たずの熊、蠱惑的(こわくてき)な盲目の少女、ロシアとの戦争に向かってきな臭さを漂わせる時代の変化…すべてが運命を狂わせてゆく。人間、そして獸たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点！！

『八月の御所グラウンド』著:万城目 学

京都が生んだ、やさしい奇跡。ホルモー・シリーズ以来16年ぶり 京都×青春感動作死んだはずの名投手とのプレー、戦争に断ち切られた青春。  
女子全国高校駅伝——大路にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生。  
謎の草野球大会——借金のカタに、早朝の御所グラウンドでたまひで杯に参加する羽目になった大学生。  
京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは——。



万城目学さんの八月の御所グラウンド  
は図書室にあります。